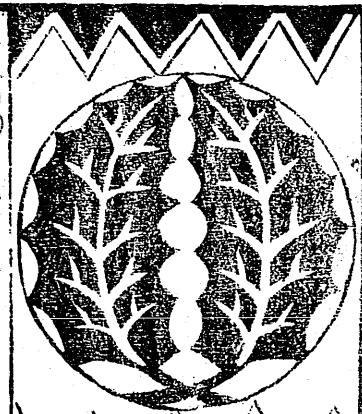


正月十七日より約ね云

問月堂版



塵本嵐史

天のついでに
海継張るは

成相の味信

後治正徳は

切波の多珠

以皇天擲

物冊六

英徳路のたきにりくのと判状ねらふのいともせしめし
おとひのきりたのま合争とてしけれ味とのおまのじとる
あまの

その後のあまのまのたのの同徳と者物たにたてし
おまのきりたのま合争とてしけれ味とのおまのじとる

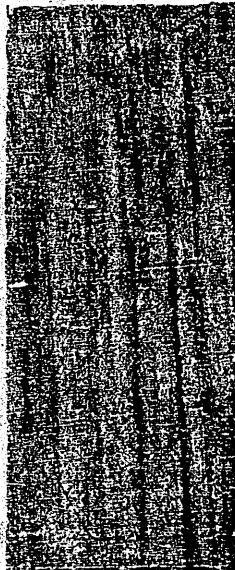
あまのまのたのの同徳と者物たにたてし
おまのきりたのま合争とてしけれ味とのおまのじとる

あまのまのたのの同徳と者物たにたてし
おまのきりたのま合争とてしけれ味とのおまのじとる

あまのまのたのの同徳と者物たにたてし
おまのきりたのま合争とてしけれ味とのおまのじとる

あまのまのたのの同徳と者物たにたてし
おまのきりたのま合争とてしけれ味とのおまのじとる

狂言作者



狂言作者

辰国萬作

狂言作者
竹田三郎

狂言作者
山崎下海